

Concise Oxford English Dictionary (COD第11版)と日本語

山本 千之 藤本 和子

1.0 昨年初夏COD (第11版) (以下COD¹¹) が日本でも姿を見せた。CODの最近の改訂の歴史を振り返ってみると、第8版1990年、第9版1995年、第10版1999年、第11版2004年となっており、ほぼ5年間隔で改訂されていることが分かる。日進月歩ということばがあるが、それが古臭い感じがする程、近頃世の中の動きは速くなり、それに合わせてことばの変化も速くなったのであろう、COD改訂のサイクルが短くなっている。

COD¹¹ はタイトルが *Concise Oxford English Dictionary* である。第9版 (1995)迄タイトルは初版 (1911) 以来の伝統的な *The Concise Oxford Dictionary of Current English* であったが、第10版 (1999) で of Current English が削られ *The Concise Oxford Dictionary* というタイトルに変更された。この第10版は、2001年に同じ編者 Judy Pearsall によって Revised Edition (Appendices が加わった) が発行されたがタイトルは1999年版のものと同じで変更はない。ところが何故か理由は定かでないが、同じく編者 Judy Pearsall により、中身は同じままで2002年に *Concise Oxford English Dictionary* という新しいタイトル—— TheがおちてEnglishが加わった——と新しいデザインの jacket のものが出版された。本稿でのCOD¹⁰は2002年版を指すものとする。

1.1 COD¹¹ の扉では第11版が Catherine Soanes と Angus Stevenson の2人に

よって編集されたものであることを謳っておきながら、目次の次頁に掲げてある Editorial team の中では、Editors (編集者) として Soanes, Stevenson のほかに、もう1人 Sara Hawker の名を挙げている。何故扉で Hawker の名が落とされているのか不明である。

1998年に Judy Pearsall と Patrick Hanks の編集により *New Oxford Dictionary of English* が出版された。この辞書は *COD^{II}* の編者でもある Catherine Soanes と Angus Stevenson によって改訂され 2003年に *Oxford Dictionary of English (ODOE)* と名を改めて出版された。*COD^{II}* が出版されたのが 2004年であるので、一時期2つの辞書の改訂作業が同時進行していたと察せられるので、Hawker の援助を仰いでいたのであろう。

1.2 第11版の本体は1681頁で第10版の本体より15頁増えている。*COD^{II}* の出版案内としてオックスフォード大学出版局 (OUP) により用意されたブックニュースによれば、約900の新語が収録されているので、そのため増頁となったのであろう。

第11版の Appendices は25頁 (1683~1708) であるが、第10版の Appendices は41頁 (1667~1708) であったので、逆に16頁減っている。この Appendices の頁数の減少で *COD^{II}* の厚さが増すことを避けたのであろうと考えられる。

第10版の Appendices は 1: Countries of the world / 2: Alphabets, accents, and punctuation marks / 3: Weights and measures / 4: Groups of animals etc. / 5: Proofreading marks / 6: Games and puzzles wordbuilder / 7: SMS (electronic text messaging) / 8: Guide to good English であったが、第11版では次のように大巾に変えられた。1: Countries of the World / 2: Prime Ministers and Presidents / 3: Kings and Queens of England and the United Kingdom / 4: Weights, Measures, and Notation / 5: Chemical Elements / 6: The Greek Alphabet / 7: The Solar System / 8: Collective Nouns / 9: Types of Language / 10: English in Electronic Communication / 11: Guide to Good English

同じ標題の Appendix 1 に関して世界の情勢に応じて Yugoslavia, Zaire が第11版の項目から削除されているのは当然のことといえる。第10版の Appendix 2 から

ギリシア語の alphabet だけ取り出し他を省いたものが第11版の Appendix 6である。第10版の Appendix 3の標題には第11版の Appendix 4の標題にある Notationが入っていないが、Power notationの項目は第10版にも入っているので内容的には変更はない。第10版の Appendix 7と第11版の Appendix 10とでは標題が少し異なるが内容的にはほぼ同じといってよい。ただし SMS abbreviationsは第10版が77であるのに第11版は9減って68である。逆に Emoticons (顔文字)は第10版が11であるのに第11版は6増えて17である。

1.3 *COD¹¹*に新たに収録された新語の例として OUPのブックニュースには次の74語(複合語, 句も1語として計算)が掲げている。

arborist, arrhythmia, autocrine, batchmate, bloviate, brane, bumsters, carbo-load, cavolo nero, congestion charge, croeso, daughterboard, designer baby, ecological footprint, elimination diet, fentanyl, fitna, Flynn, gewgaw, glatt, gulet, hapkido, hardscrabble, hazmat, hoodia, iechyd da, industrial language, jarhead, junk DNA, kill file, kyudo, low-hanging fruit, lunch pail, Manchego, manteau, mattify, metrosexual, microdermabrasion, minhag, mini-me, moptop, mystery shopper, nanobot, nibbana, niqab, noir, noni, noogie, outward investment, Oxford comma, pole dancing, punditocracy, Q-tip, quick study, quinolone, retile, road trip, schoolie, seitan, serial comma, serrano, spyware, stealth tax, stevia, taikonaut, threequel, tuple, underlit, unmoderated, va-va-voom, viewscreen, weekend warrior, wiggle room, zaddik

この中で arrhythmia と gewgaw については、それぞれ arrhythmia, geegaw という変異形 (variant) が *COD¹⁰*には示されていないという違いだけで、両語とも *COD¹¹*で初めて登場したわけではない。manteauは *COD¹⁰*に既に収録されているが、2 a long, loose coat or overshirt worn by Muslim women. という定義は *COD¹¹*で初めて登場したものである。schoolieも *COD¹⁰*に既に収録されているが、

schoolies week という phrase と、その意味は *COD*¹¹ で初めて載せられた。

上に掲げた74語のうち前年(2003年)に出版された *ODOE* に採録されているものは次の5語だけである。

arrhythmia, daughterboard, gewgaw, manteau, schoolie

2004年に Orin Hargraves の編集により *New Words* という辞書が OUP より出版された。上掲の74語の中で、*New Words* に採録されているものは次の19語にすぎない。

brane, carbo-load, cavolo nero, daughterboard (但し見出し daughtercard の項で), ecological footprint, elimination diet, fentanyl, hapkido, hoodia, low-hanging fruit, metrosexual, microdermabrasion, mystery shopper, noni, punditocracy, quinolone, seitan, stevia, taikonaut

*COD*¹¹ は21世紀最初の *COD* にふさわしいものであるように全面改訂したと序文に述べてある。*COD*¹ (1911) がまだ未完で進行中であった *OED*¹ (1928年に完結出版された時のタイトルは *A New English Dictionary on Historical Principles* であった。1910年 March で A~R が完了。S も 1910年 June で Scouring 迄完了) の資料と編纂方法を利用したように、*COD*¹¹ は *ODOE* の調査・分析の成果を利用している。Oxford Reading Programme の用例データベースを含んでいる Oxford English Corpus の何億語もの単語について調べることができ、英語の中心的語彙すべてを示すことができたという。また *OED*³ —— 現在編集作業が進行中 —— の *New Words team* の援助も仰いだというが、1.3 で述べた新語の採録状況を見ても、そのことが事実であるということが分かる。

1.4 *COD*¹¹ の特色の1つに boxed usage note [USAGE] (かこみ語法ノート) と Word History [HISTORY] (語の歴史 [由来]) がある。かこみ部分は双方共網掛けされている。微妙でいろいろ異論の多い語法問題について指針を与えるべく設けら

れたUSAGEはCOD¹⁰でも既に採用されているが、COD¹¹では格段に増えている。Bの項でCOD¹⁰はbacteriumとBantuの2語に関するものだけであったが、COD¹¹ではbacterium, Bantu, bated, because, beg, better, between, bi-, black, blonde, bored, borrowの12語に関するものに増加している。Aの項についても、COD¹⁰の12語に対してCOD¹¹は33語と大巾に増えている。

COD¹⁰, COD¹¹の両版で見出し語となっている同一語のUSAGEを比較してみると次の3種に分かれる：**averse**に関するもののようにCOD¹⁰とCOD¹¹のUSAGEが全く同一であるもの／**ain't**に関するもののようにCOD¹⁰とCOD¹¹のUSAGEが、ごく僅かな修正を除けば実質的には同一であるもの（COD¹⁰: In modern English the use of **ain't** is non-standard, despite being widespread in many dialects and in informal speech／COD¹¹: ~, despite it being widespread・・・下線を付したitのみ挿入）／**Asian**に関するもののようにCOD¹⁰の説明にCOD¹¹で更に新たな説明を追加したもの（COD¹¹の追加説明: **South Asian** is used in both Britain and North America to refer to people from the Indian subcontinent.）。

HISTORYという欄はCOD¹¹で新設されたものであるが、COD¹⁰にあったWord Formation——たとえば-archy語尾をもつ語の情報——という欄はCOD¹¹では削除された。USAGE欄を大巾に増やしたので、総頁数調整のため削除したとも考えられる。

Nの項ではnavvyとniceにHISTORYの欄がある。niceについては、この語がMiddle English（中英語）に入ってきた時には、ラテン語nesciusと同じ'stupid'というnegative connotationであったが、いつ頃現在の'fine'というpositive connotationに変わったのかということが述べられている。

1.5 Xの項でCOD¹¹の改訂状況を調べてみよう。X³■abbrev. (N. Amer. informal) the drug EcstasyがCOD¹¹で新たに採録された。／COD¹⁰のXanaxはCOD¹¹で削除された。／XenicalのORIGINに関してCOD¹⁰ではC20: of unknown origin.となっていたが、COD¹¹ではC20が1990sに変更された。／Xhosaの定義2はCOD¹⁰ではthe Bantu language of this peopleであったが、COD¹¹では

this people が the Xhosa に変更され, the Bantu language of the Xhosa となった。
 / **XHTML** ■ **abbrev.** (Computing) Extensible Hypertext Markup Language, a hybrid of HTML and XML. が *COD*¹¹ で新たに採録された。 / **xi** の発音は *COD*¹⁰ では / ksAI, gzAI, sAI, zAI / であったが, *COD*¹¹ では / ksAI, sAI / と無音声の s の発音だけに変更された。 / *COD*¹⁰ の **Xiang** は *COD*¹¹ で削除された。 / **xiphoid** / 'zɪfɔɪd / ■ **adj.** (technical) sword-shaped. — ORIGIN C18: from Gk *xiphoeidēs*, from *xiphos* 'sword'. が *COD*¹¹ で新たに採録された。 / **Xmas** の ORIGIN に関して *COD*¹⁰ では入っていなかった C16 が *COD*¹¹ で挿入された。 / *COD*¹⁰ の **XMS** は *COD*¹¹ で削除された。 / **XOR** の定義は *COD*¹⁰ では ● **n.** (Electronics) exclusive OR (a Boolean operator) となっていたが, *COD*¹¹ では () 内の a Boolean operator は削除された。 / **xylene** / 'zAɪli:n / の定義は *COD*¹⁰ では ● **n.** (Chemistry) a volatile liquid hydrocarbon obtained by distilling wood, coal tar, or petroleum, used in fuels and solvents and in chemical synthesis. となっていたが, *COD*¹¹ では定義から coal tar が削除された。 / **xylo-** / 'zAɪləv / の定義は *COD*¹⁰ では ● **comb. form** of or relating to wood : *xylophone*. となっていたが, *COD*¹¹ では of or が削除された。 / **xylophone** の derivative (派生語) の表示で, *COD*¹⁰ では *xylophonist* n. / zAɪlə'fɒnɪst / と発音記号の前に品詞の記号を先行させていたが, *COD*¹¹ では順序を入れ換えて正しく発音記号を先行させている。

以上考察したことから, *COD*¹¹ の改訂が細かい点にまで及んでいることが分かる。

2.0 近時日本の文化が欧米社会でますます認識されるようになり, それに伴って多くの日本語が英語に入った。*COD*¹¹ にも英語に入った多くの日本語 (総数183語) が収録されている。その中でも *bento*, *dohyo*, *mawashi*, *seitan* といった日本語は *COD*¹¹ で初めて収録されたものであるが, *kakemono* (掛け物), *kimono* (着物), *sake* (酒), *yen* (円) といった日本語は既に *OED*¹ (1928) で採録されているものである。

seitan は日本語の植物性蛋白からということであるが, 動物性蛋白との区別の点や現代日本語での通用性の点で問題があることを筆者 (山本) は『英語青年』第150

巻第5号の誌上で指摘している。bentoの定義についても後述する如く一考を要する点がある。

OEDに収録されている日本語に関しては、2004年に論創社より福田陸太郎監修、東京成徳英語研究会編『OEDの日本語378』という本が出版されており、他にも先行研究があるが、COD関連のものは殆どないと思われるので、COD^{II}に収録されている日本語について調査してみることも、あながち無意味なことではなからう。

2.1 COD^{II}のORIGINでJapanese(日本語)とされているもの

- 〈A〉 adzuki aikido Akita(秋田犬) anime arame(〈海藻〉荒布) Arita
- 〈B〉 banzai basho(〈相撲〉場所) bento bokken(木剣) Bon(盆) bonsai
bonze(坊主) budo bushido
- 〈D〉 daikon daimyo dan¹(段) dohyo dojo(道場)
- 〈E〉 edamame enoki
- 〈F〉 fugu futon
- 〈G〉 gaijin geisha gi(柔道着) ginkgo(銀杏) go² gobo²
- 〈H〉 haiku hamachi happi hara-kiri Hashimoto's disease hibachi
hibakusha hinoki hiragana hokku(発句) honcho(班長)
- 〈I〉 ikebana Imari intro ippon(〈柔道ほか〉一本) issei(一世)
- 〈J〉 judo judoka ju-jitsu(柔術) juku
- 〈K〉 kabuki kaizen(〈経済〉改善) kakemono kami(神) kamikaze kana
kanban(〈経済〉かんばん方式) kanji karaoke karate karateka
karoshi(過労死) kata(〈空手ほか〉形・型) katakana katana
katsura(桂;鬢) Kawasaki disease keiretsu kendo kimono koan(公案)
koi(鯉) koto(箏) kudzu(葛) kumite(組手) kyu(級) kyudo
- 〈M〉 manga matsuri mawashi(化粧まわし) Meiji mikado(御門, 帝) mirin
miso mizuna(水菜) moxa(艾)
- 〈N〉 netsuke(根付) Nikkei index ninja ninjutsu Nip(日本人) Nipponese
nisei(二世) Noh(能) nori(海苔) nunchaku(双節棍)

- 〈O〉 obi² origami otaku
- 〈P〉 pachinko
- 〈R〉 raku (楽焼) ramen reiki (霊気) reishi (灵芝) rickshaw (人力車) romaji
ronin (浪人) Roshi (老師) rotenone (〈殺虫剤〉ロテノン) ryokan (旅館)
ryu (流)
- 〈S〉 sake² samisen samurai -san sansei (三世) sashimi satori (覚)
satsuma (温州みかん; 薩摩焼) sayonara seitan (植物性蛋白) sen (銭)
sensei (〈武道〉先生) seppuku shabu-shabu shakuhachi (尺八) shiatsu
shiitake Shinkansen Shinto (神道) shiso (紫蘇) shochu shogun
shoji (障子) shoyu shubunkin (〈金魚〉朱文金) shuriken sika (シカ)
skimmia (深山樺) skosh (少し) soba sokaiya (総会屋) soy (醤油)
sukiyaki sumi-e (墨絵) sumo surimi sushi
- 〈T〉 tabi (足袋) tachi (太刀) tamagotchi (たまごっち) tamari (たまり醤油)
tanka¹ tatami tempura Tenno teppanyaki teriyaki tofu tokonoma
torii (鳥居) tosa (土佐犬) tsuba (鐔) tsubo (坪; 〈医療〉壺) tsunami
tsutsugamushi disease (恙虫病) tycoon (大君)
- 〈U〉 udon ukiyo-e umami (旨味)
- 〈W〉 wakame wakizashi wasabi (山葵)
- 〈Y〉 Yagi antenna (八木アンテナ) yakitori yakuza yen¹ (円) yokozuna
yukata
- 〈Z〉 zaibatsu zazen (座禅) Zen (禅) zori

本稿のリストには、第一見出しで挙げられている形のみ掲載しており、異形は表示していない。COD¹¹には、例えば **adzuki** には (also **aduki**) という記述がある。ORIGIN で Japanese からであることが明記されていないが、Nichiren (日蓮) もリストに含めるべきかもしれない。

2.2 2.1のリスト中でCOD¹⁰になくCOD¹¹で新たに収録されたもの——総数21語

- 〈B〉 bento budo
- 〈D〉 dohyo
- 〈E〉 edamame enoki
- 〈H〉 hamachi hibakusha
- 〈K〉 kumite kyudo
- 〈M〉 mawashi
- 〈N〉 Nipponese
- 〈O〉 otaku
- 〈R〉 reishi
- 〈S〉 -san sayonara seitan shabu-shabu shiso surimi
- 〈T〉 teppanyaki
- 〈U〉 umami

COD^{II}で新たに収録されたこれらの語には、相撲、日本古来の武道、和食に関するものが多く、また、otakuのように現代日本の社会現象を反映している語も含まれており、イギリス人の関心の一端をうかがうことができ興味深い。

2.3 2.1のリスト中で *OED*² (1989) に既に収録されているもの

- 〈A〉 adzuki aikido Akita Arita
- 〈B〉 banzai bonsai bonze bushido
- 〈D〉 daimyo dan dojo
- 〈F〉 futon
- 〈G〉 geisha ginkgo go
- 〈H〉 haiku happi hara-kiri hibachi hinoki hiragana honcho
- 〈I〉 ikebana Imari intro
- 〈J〉 judo ju-jitsu
- 〈K〉 kabuki kakemono kami kamikaze kana kanji karate kata katakana
katana katsura kendo kimono koan koi koto kudzu kyu

- 〈M〉 matsuri Meiji mikado miso moxa
- 〈N〉 netsuke Nip Nipponese nisei Noh nori nunchaku
- 〈O〉 obi origami
- 〈P〉 pachinko
- 〈R〉 raku rickshaw romaji ronin Roshi rotenone ryokan
- 〈S〉 sake samisen samurai -san sansei sashimi satori satsuma sayonara
sen sensei seppuku shabu-shabu shakuhachi shiatsu shiitake Shinto
shochu shogun shoji shoyu shubunkin sika skimmia soba soy
sukiyaki sumi-e sumo sushi
- 〈T〉 tabi tamari tanka tatami tempura teppanyaki teriyaki tofu
tokonoma torii tosa tsuba tsubo tsunami tsutsugamushi disease
tycoon
- 〈U〉 ukiyo-e
- 〈W〉 wasabi
- 〈Y〉 Yagi antenna yakitori yakuza yen yokozuna yukata
- 〈Z〉 zaibatsu zazen Zen zori

COD¹¹ の happi は *OED²* では happi-coat となっている。

OED² では katura は「鬘」の定義のみで「桂」の定義は与えられていないが、語源情報の中では、この語の後者の意味もふれられている。

COD¹¹ の rickshaw は *OED²* では jinricksha, jinrikisha として収録されている。

COD¹¹ の tsutsugamushi disease は *OED²* では tsutsugamushi の項で扱われている。

COD¹¹ では tsubo に、「坪」と「壺(医療)」の2つの定義が与えられているが、*OED²* では、前者の定義のみで後者の定義は与えられていない。

COD¹¹ の Yagi antenna は *OED²* では Yagi にあたる。

2.4 2.1 のリスト中で *OED²* になく *COD¹¹* にある語

- 〈A〉 anime arame

- 〈B〉 basho bento bokken Bon budo
- 〈D〉 daikon dohyo
- 〈E〉 edamame enoki
- 〈F〉 fugu
- 〈G〉 gaijin gi gobo
- 〈H〉 hamachi Hashimoto's disease hibakusha hokku
- 〈I〉 ippon issei
- 〈J〉 judoka juku
- 〈K〉 kaizen kanban karaoke karateka karoshi Kawasaki disease keiretsu
kumite kyudo
- 〈M〉 manga mawashi mirin mizuna
- 〈N〉 Nikkei index ninja ninjutsu
- 〈O〉 otaku
- 〈R〉 ramen reiki reishi ryu
- 〈S〉 seitan Shinkansen shiso shuriken skosh sokaiya surimi
- 〈T〉 tachi tamagotchi Tenno
- 〈U〉 udon umami
- 〈W〉 wakame wakizashi

*COD*¹¹に採り入れられている語は、2.2で述べたように、相撲、武道に関するものや和の食材が多く見うけられる。その他、juku, kaizen, karoshiなどといった日本の社会、経済の様相・変化を表すもの、manga, tamagotchiのような娯楽関係の語もある。このように、日本の伝統、(食)文化、社会・経済関連の語が採り入れられているということは、日本の文化の広がりや、日本経済への注目度の高さが反映されているといえよう。

2.5 basho の語源記述で、*COD*¹⁰では *shō* は victory, win とされていたが、*COD*¹¹では place と訂正された。

bentoはCOD¹¹で新たに入った語であり、その定義では、「弁当箱」を第一義とし、「食物」を第二義としてあるが、後者のほうを第一義とすべきであろう。

ginkgo, koan, ramen, samisen, Shinto, shogun, soy, tofu, Zenについては、COD¹⁰, COD¹¹ともに、語源は日本語とした上で、さらに、はじめの8語に関しては、もともと中国語から、そして最後の語に関しては、本来、中国語及び、サンスクリット語から日本語に入ったとする記述がつけ加えられている。

その他、いつ頃、英語に採り入れられたのかという語源情報の中で、例えば、kanbanのようにCOD¹⁰ではC20とあったものが、COD¹¹では、さらに具体的に1970sとなったものや、karoshiのようにCOD¹⁰では年代の記述はなかったが、COD¹¹において1980sという記述が新たにつけ加えられたものもあれば、逆にshiatsuのように、COD¹⁰にはあった1960sという情報がCOD¹¹では削除されてしまったものもある。